

# 市議会が

# ”待った！”の決議

境港市議会は6月29日、「中国電力との間で事前了解権のある安全協定締結を求める陳情」を全会一致で採択しました。また、そうした安全協定締結まで判断しないように求める陳情と、「実効性ある『避難計画』を策定するまで申請を行わないよう中国電力に求める決議」を賛成多数で可決しました。

**権限もない**

**実効性もない避難計画**

**そのまま**

**稼働して良いものか**

島根原発3号機新規稼働へ、中国電力が原子力規制庁へ適合性審査を申請のため、島根、鳥取の周辺自治体首長が、賛否の判断を求められています。安来市議会や松江市長が「容認」を表明するなど攻防が続くなか、境港市議会のこの態度決定

は、市民の願いに大きくこたえるもので、「議会と市民の意見を聞き判断したい」としている中村勝治境港市長の判断が問われます。

決議を共同提案した日本共産党の長尾達也市議や無所属、保守系議員は、「事前了解や立ち入り調査の権限もない。被ばく前提の避難計画そのままでオーケーとはならない。当然の決議」と語っています。

島根原発から30km圏の範囲



**事前了解権**  
 Ⅱ 原発の新設や重大な変更について同意あるいは不同意する権利を意味していません。

中国電力は立地自治体の松江市に認められていますが、境港市や米子市には認めようとしていません。

事故があれば重大な被害を受けるのは同じです。どんなに不当かは福島原発の事故で明らかで、いま、両市と鳥取県が一致して中国電力に要求しています。

実効性ある「避難計画」を策定するまで、島根原子力発電所3号機の新規制基準適合性審査申請を行わないよう求める決議

陳情—「実効性ある避難計画策定まで適合申請しないこと」  
 6月議会 賛成多数で可決  
 賛成—○ 反対—✕

共産党	安田 共子	○
	長尾 達也	○
きょうどう	米村 一三	○
	岡空 研二	○
	平松 謙治	○
	柘 康弘	○
	森岡 俊夫	議長
自民クラブ	荒井 秀行	✕
	佐名木知信	✕
	築谷 敏雄	✕
新風	濱田 佳尚	✕
	永井 章	✕
公明党	田口 俊介	✕
	足田 法行	✕
無所属	松本 熙	○
	景山 憲	○

# 安市が責任をもつて 安全の検証を

## 長尾達也市議

構成する検証チームで検証し、慎重に対応したい。

**避難もできずに稼働はない**

長尾市議 30km圏に46万人以上が暮らしている。避難計画に実効性はなく、多くの市民が被曝せざる負えない。安全に避難できない原発は稼働させられないと思うが。

**実効性の確保につとめる**

中村市長 状況により屋内退避や避難を指示することにし、避難時間の縮減を図っている。避難訓練を行い、実効性の確保を図っていく。

**危険な原発より**

**再生エネへ転換を**

長尾市議 原発稼働の「必要性」はない。原発から脱却し、安全安心な再生可能エネルギーに転換し、原発に頼らない境港で地域の活性化を図るべき。

中村市長 国が、重要なベースロード電源に位置づけられており、当面は必要と考えるが、省エネと再生可能エネルギーの最大限の導入で、可能な限り早く脱却すべきと考えている。



島根原子力発電所のUPZ(30km圏)は、島根県、鳥取県の双方にかけ、島根県側では県庁所在地の松江市や人口の多い出雲市、中海を挟んで、隣接している境港市・米子市が該当することから、避難対象人口は、茨城県の東海第二原発、静岡県県の浜岡原発に次いで多い。島根原子力発電所で事故が発生すれば、風向きによっては、境港市は立地自治体である松江市と同様ないしそれ以上の被害を被る恐れがある。

しかし、現在の避難計画では、PAZ(原発から5km圏内の予防的防護措置準備区域)の住民が先に避難し、その後UPZ(5~30km圏内の緊急的防護措置準備区域)の住民が避難するという、二段階の非現実的な避難計画となっている。

また、「災害時要援護者の避難については、避難に伴うリスクを軽減するため十分な準備が必要であり、避難準備が整うまでは屋内退避を行う」とされているが、現実的に、屋内退避では放出される放射性物質からの被ばくを最小限にとどめることは極めて容易ではない。

よって、境港市議会は、住民の安全・安心を確保する観点から、原発事故における放射線による住民の被ばくを避けることができ実効性のある「避難計画」が策定されるまで、中国電力株式会社に対して島根原子力発電所3号機の新規制基準適合性審査申請を行わないよう、強く要望する。

以上、決議する。

## 日本共産党 2018年6月議会報告

この報告は政務活動費で発行しています

2018.7.15

日本共産党境港市議団発行  
 境港市湊町55 TEL44-0039



長尾達也市議 新潟県は「安全の保障がない限り、再稼働に賛成できない」と検証作業をしている。これこそ自治体をとるべき姿だ。検証し、市民に報告し意見を十分聞いて判断すべきと思うが。

**厳しく検証し、**

**議会と市民の意見をうかがう**

中村勝治市長 中電から安全性や再稼働の必要性などの説明を受け、市議会や市民の意見をうかがい、県・境港市・米子市で

平成30年6月29日

# 3市民の健康増進への提案

## 安田とも子市議



### 栄養士配置の充実・強化を

安田とも子市議 日常的な食生活や栄養相談、乳幼児健診の栄養指導など、健診の担当課である健康推進課へ、栄養士の配置が必要だと思うが。

### 教育委員会とも協議する

中村勝治市長 給食センターの栄養士が、もう少し市民全体の健康づくりに関われないか、教育委員会とも協議をしたい。

### 安田市議 給食センターへのニーズとして、

食育はもちろん、アレルギー対応ももっと充実してほしいという声も聞く。食育や食生活改善を大事とするなら、人の配置は当然。増員という英断に向けしっかりと検討を。



安田市議 歯と口腔の健康

### 成人歯科検診を

「生活保護なめんなジャンパー事件」を起こした小田原市では、その反省をもとに、「生活保護のしおり」は全体的に「相談をしてください」というものになっている。一方、境港市のものは、「さまざまな努力をしても生活を維持できないときに限って初めて適用されるもの」とある。努力で

は、日々の豊かな生活と健康に欠かせない。定期的な歯科検診が予防や早期治療につながる。後期高齢者歯科健康診査に加えて、成人歯科検診の実施を。中村市長 『健康づくり推進計画』の中で検討したい。

### 食生活改善推進員の活動、応える支援を

安田市議 策定中の『健康づくり推進計画』にも大事な、栄養・食生活にかかわる食生活改善推進員（通称「食改さん」）の活動の概要はどうか。

中村市長 現在214名が活動。味噌汁の塩分測定などの学

### 生活保護の広報

## もっと親切なわかりやすいもの

### 安田とも子市議

きるかできないかを自分で評価しないといけないことになる。

ホームページも情報が少ない。検討してほしい。

中村市長 他市の周知方法も参考にしながら、分かりやすさに工夫を凝らし、制度の周知を図り、必要な人に必要な情報が伝わるよう努めたい。



## はまグループバスに定期券、障がい者割引

境港市は、はまグループバスに3,000円で3ヶ月有効の定期バスと一日何回乗っても300円の一日券を発行することになりました。定期や一日券などの発行は、定岡前市議を始め、数人の市議が提案をしてきました。

合わせて、障がいを持つ方と介助のために同乗する人の5割軽減も実施されます。

いずれも10月1日からです。



## 安定ヨウ素剤の事前配布が始まります

安田市議が提案してきた、原子力災害時に放射性ヨウ素剤による影響を予防する「安定ヨウ素剤」を希望者に事前配布するための説明会と配布が、9月末～10月ごろ実施の予定です。

広報は8月以降とのこと。

## 知っ得情報

### Q 防災行政無線が聞き取れなかったとき

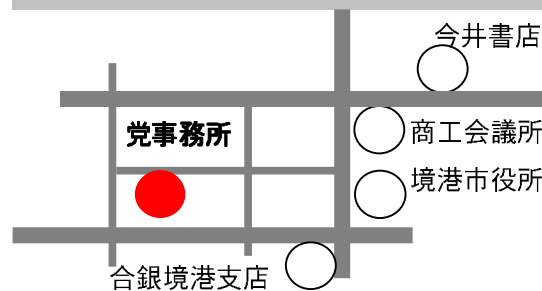
A フリーダイヤル 0120-445-040で確認できます。(通話料は無料)

市役所、公民館、地区会館からの放送内容も含め、最新の6回分を聞くことができます。放送内容の音声流れるまで、しばらく時間がかかります。

## セクハラのない社会の実現を市議会が意見書

高級官僚による女性記者へのセクハラがありました。セクハラは人の尊厳を傷つけ、生涯消せないトラウマにもなる重大な人権侵害です。安田市議の提案で境港市議会は29日、全会一致で、閣僚や国会議員、官僚はじめ、職場、地域、学校などあらゆる場で、セクハラや人権、女性差別撤廃条約や国連の勧告など研修を行うよう、政府に要望する意見書を可決しました。

## 日本共産党境港市議団



## なんでも相談会

お気軽にご相談ください

毎週 水曜日 午前10時～12時  
会場 日本共産党境港市委員会

湊町 55 ☎44-0039